

## JR 東日本 東京駅

施設管理者 JR 東日本旅客鉄道㈱  
施設所在地 東京都千代田区  
調査見学時期 2018年2月21日(水)

### 施設概要

丸の内駅舎保存・復原工事は、国指定の重要文化財である駅舎を未来へ継承すべき貴重な歴史的建造物として、残存している建物を可能な限り保存するとともに、創建当時の3階建の姿に復原した工事で、2007年5月に着工し、2012年10月に完成したものです。有名な南北ドーム以外にも、駅舎の耐震性能向上のため、1階と地下部の間に設置された何百台もの免震装置(アイソレータ、オイルダンパー)など、様々な特徴があるとのことでした。

丸の内駅前広場整備工事は、駅舎保存・復原工事完成の2年後の2014年8月に着工し、昨年12月に完成したもので、多くの観光客や通勤客等が訪れる首都の玄関口として、赤レンガ駅舎や、皇居へ続く「行幸通り」と調和した景観になるように整備されています。

北通路周辺整備事業は、中央通路・北自由通路間において、地下1階の新設及び1階の改良を行うもので、2016年1月に着工され、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催前の完成を目指して、工事が進められています。

(GEC ニュース第344号/2018.5より抜粋)

